

Proxima

”ピューアーカッパー（無メッキ）RCAプラグ” デジタルケーブル

【DG-7000 取扱説明書】

[概説]

現在、銅製プラグにメッキをかけるのは常識といえます。金、銀、ロジウム、プラチナといったメッキの働きは銅の保護、導通の安定化、音質の改善等色々ありますが、この「音質改善」に関しては丁度、料理のスパイスのような働きで本当に良い素材に対しては不要か逆に本来の良さを隠してしまう、使い方の難しい材料といえます。高純度7N線と総木綿外装の組合せは正に純粋無垢で音的スパイスを一切必要としません。無メッキ品、つまり本ケーブルは低域、中高域の強調感が一切無いため、微細音がマスクされず、総ての音がストレートに出てきます。

さらに本品は音を悪くする金属リングを排除したスリーブレス・プラグ構造です。

また、外装の高度な導電処理もクリアーな音の一端を担っています。

本品は旧製品DG-5000のホット、アースの線径と線の撚り方法を調整し、よりフラットな聴感特性を目指した製品です。

[本品の特徴]

- ◎本ケーブルには方向性があります。製品ラベルの方向（右側がD/A側）が弊社の推奨方向ですが最終的には比較試聴で方向を選んでください。
- ◎デジタルケーブルに関しては、シリコーン樹脂でも高周波特性&音質に多少の影響があり、本品では（弊社電源ケーブルのような）シリコーン絶縁も掛けておりません。
- ◎内外装共、無染色綿を使用しています。染色材は色々テストしましたが全てNGです！
逆に”純白”品は脱色（漂白）を行っていることが多く、これも音質はNGです。
埃が掛かった場合はブラシで落とす程度に抑えてください。
（埃の成分の殆どは繊維質かシリカで音に対する害は少ないものです。シースは導電処理綿ですので濡らすと音が変わってしまう恐れがあります）
- ◎導電性外シースは緩い通し方の方が音が良く、結果、本品のようにルーズな造りになっています。特にD/A側20~30cmに（ゾウの足のように）弛みを寄せると”開放感”が更に改善される傾向があります。
- ◎本ケーブルを長時間使用しない場合は出荷状態のようにピンコネクター（ジャック）に挿入しておくことと変形&酸化を防げて安心です。アース側端子の多少の変形はピンセット等で簡単に直せます。（バネ性の良い薄く柔らかな銅板ですが、変形しやすいのが欠点で、ご注意下さい）
- ◎アースリング内側のクリーニングには綿棒の紙軸芯を折ったものか爪楊枝に少しティッシュを巻き付けクリーニング液（プロパノール等）を染み込ませて拭き取るのが簡単です。
- ◎オーディオ用接点オイル類は出来るだけ使用しないで下さい！
薄いオイルの皮膜でも音質の弊害がある場合が殆どです。クリーニングや摩擦低減の目的で使われる場合はティッシュ等に僅かに染み込ませ、しっかり磨き込むようにして下さい。

- ◎本品は完全な無メッキ製品です。銅製プラグは黒ずみが出ますが「音に問題が無ければ接触の問題も無い」とお考えください。頻繁に磨くことは銅を侵食することになりますので、お止め下さい。(但し使用環境により、酷く汚れやすい場合はご相談ください)
- ◎お客様のご希望に合わせた長さのケーブル(50cm~2m物)も作成致しますが、1.5m以上のものではノンシールドという本品の構造上、ノイズを受けやすくなるケースがございます。この場合はまず、貸出品でお試しく下さい。

[仕様]

- ◎ 7N撚り線2本ツイスト構造。シールド無し
- ◎ オール木綿 内外装 (無染色導電処理加工品)
- ◎ ハンドメイド純銅無メッキプラグ
- ◎ プラグ部金属スリーブ無し (シリコンチューブ仕上げ)

なお、「無メッキ銅プラグに至る経緯」(音が良く意外と強い無メッキ銅!)は、弊社ホームページをご覧ください。

使用上、不明な点あるいは御意見がございましたら、下記メール等をご利用ください。

株式会社 日本オーディオ

〒111-056 東京都台東区小島2丁目1番11号 三源ビル801号

TEL 03-5825-4344

FAX 03-5825-4669

E-mail: nipaudio@netlaputa.ne.jp

URL: <http://nipaudio.com/>